

特集 「書のまち春日井」は、咲き続ける。

道風記念館開館40周年

昭和56年11月に開館した書専門の美術館「道風記念館」が、今年で40周年を迎えます。
 「書のまち春日井」は、長い年月を市民とともに生き続け、今、そして未来へ受け継がれています。

問い合わせ 文化・生涯学習課 ☎ 85-6079

春日井に息づく小野道風の偉業を振り返る

平安時代の三跡(三人の能書)の一人として、日本書道史上に大きな足跡を残した小野道風は、春日井で生まれたということがいくつかの文献に見られます。

道風が春日井で生まれたという言い伝えとともに、道風の偉業を後世に伝えたいという春日井の人たちの思いが、現在の「書のまち春日井」に生き続けています。

道風記念館



全国的にも数少ない「書専門の美術館」

「道風記念館」誕生物語

昭和19年(1944)、小野道風の誕生伝説地において盛大に開催された、小野道風公生誕1050年祭。その後、毎年11月3日に行われる道風祭に合わせ、昭和24年から開催されている小野道風公奉賛全国書道展覧会(道風展)。この二つの小野道風顕彰活動を通して、春日井に寄せられた著名書家の書作品を保存・展示し、道風の偉業を後世に伝えるために道風記念館は建設されました。

昭和56年に開館してから40年。収蔵品も年を追うごとに充実し、全国的にも数少ない書専門の美術館として、さまざまな書の展覧会を開催しています。また、書に関する講演会や講座を開催するなど、書道文化振興のための幅広い取り組みを行っています。

「書のまち」は

現在に受け継がれている

小野道風肖像画

(観音寺所蔵)



開館当時の広報 (昭和56年11月15日号)

道風展



昭和24(1949)年度から

書聖・小野道風の偉業をたたえるため開催されている道風展。全国各地からたくさんの作品が寄せられる、わがまち伝統の書道展です。

県下児童・生徒 席上揮毫(きぎょう)大会



昭和40年(1965) 第30回大会の様子

小野小学校で毎年秋に開催されています。その歴史は古く、太平洋戦争中も開催されました。県内の小中学校から選ばれた子どもたちが書の腕前を競い合います。

平成21(2009)年度から



春日井まつり
「Kasugai ザ道風」

春日井まつりで毎年、書道とダンスなどが融合した、書道パフォーマンスコンテスト「Kasugai ザ道風」を実施しています。

平成15(2003)年度から
〈あ〜とふるマイタウン〉



わ〜く書っぶは令和2(2020)年度から

わ〜く書っぶ(書家派遣事業)

市内で活躍する書家を学校や福祉施設などに派遣し、普段の授業では体験できない書の魅力を感じてもらえるような機会を提供しています。

令和3(2021)年度から



命名紙入り写真立て
プレゼント(新生児向け)

生活の中で「書」に触れ「書のまち」を感じてもらえるよう、市内で活躍する書家の揮毫による命名紙入り写真立てを「書のまち春日井」で生まれた新生児にプレゼントしています。

平成23(2011)年度から



小学校の書道科

市内小学校の全学年を対象に、書道科の授業を取り入れています。また、令和元年度から書道科の授業用に「書のまち春日井」や「小野道風」を紹介するパンフレットを作成し、小学3年生以上の児童全員に配布しています。

“わ〜く書っぶ”
スペシャルDAY

令和3年度は、文化フォーラム春日井スカイフォーラムリニューアル記念として、書を始めた伝統的な文化を体験し、次世代に継承していくことを目的に、毎年の「わ〜く書っぶ」に加え、「わ〜く書っぶ」スペシャルDAYを特別開催し、親子に体験していただきました。



道風展作品募集

問い合わせ
かすがい市民文化財団
☎ 85-16868

道風展は今年で73回目。
皆さんの出品をお待ちしています。

※仕上方法や作品規格など、

詳しくは、かすがい

市民文化財団ホー

ムページへ



	部門	出品料	作品の搬入 (各部門とも1人1点)	展示	
一般	漢字・かな・近代詩文・少字数	5000円	10月5日(火) 午前9時30分～正午	中央公民館内道風展事務所 (〒486-0913 柏原町1-97-1)へ ※郵送の場合は、9月28日(火)～10月2日(土)〈必着〉	10月31日(日) ～11月7日(日) 文化フォーラム春日井、市役所、道風記念館
	小品	3000円			
学生	条幅	1300円	10月4日(月) 午前9時30分～午後4時		
	半紙	400円			



特別記念事業

問い合わせ 道風記念館 ☎82 - 6110



座右の銘など、好きな言葉をハガキに書いて出品してください。道風記念館2階で展示し、展覧会終了後にお返しします。7月11日現在の応募作品数は715点です。

- ① 40周年記念道風くんシール
- ② 3つの展覧会（「おののとうふう」、「書のまち春日井」、「書之美、書の価値 ～つたえるということ～」）を見てスタンプを集めた人に、プレゼントを差し上げます。

「私の好きな言葉」展

みんなで作る展覧会。

あなたのハガキ書作品を40年目の道風記念館で。

募集期間：令和4年3月31日（木）まで

展覧会会期

・新着500点展示：令和3年10月31日（日）まで

・全作品展示：令和4年3月1日（火）～5月8日（日）

展覧会会場：道風記念館

ハガキ書制作イベント

日時：9月4日（土）午後1時～4時

会場：文化フォーラム春日井

企画展

「おののとうふう」

小野道風がつくった

「和様の書」のひみつを

解き明かそう。

展覧会会期

9月5日（日）まで

展覧会会場

道風記念館

企画展

「書のまち春日井」

開館40年の節目に、

「書のまち春日井」の

軌跡を振り返ります。

展覧会会期

9月1日（水）～12日（日）

展覧会会場

文化フォーラム春日井

ギャラリートーク

日時：①9月5日（日）②9月12日（日）
午後2時～3時

会場：文化フォーラム春日井

内容：展示品解説

講師：①安達柏亭・原田凍谷
②中村立強・武内峰敏

春日井が「書のまち」と呼ばれているのはなぜでしょうか。この展覧会では、道風の誕生伝説が残る地が、どのようにして「書のまち」になったのか。その軌跡を紹介します。そして、書のまちの礎を築いた書家の作品や現在の「書のまち」を支え、書の文化振興に尽力しつづけている書家の作品を展示します。



道風の書を鑑賞してもらうとともに、道風とその書について、丁寧に紹介します。小学生のみんなはクイズに答えて「道風くんシール」をもらおう！



道風記念館開館40周年

特別展「書之美、書の価値〜つたえるということ〜」

書の役割の一つ、「つたえる」ということをテーマに、書之美、書の価値を見つめ直します。

展覧会会期：令和3年9月11日（土）〜10月3日（日）
展覧会会場：道風記念館

「書」とは何か。伝達手段の最たるもの、「言語」。言語を固定化したもの、「文字」。文字を表現したものの、「書」。書は伝達手段の一つであり、文字を素材とした美術です。

この展覧会では、日本の書之美を味わいつつ、古来書が果たしてきた、人から人へ「つたえる」という役割に焦点を当て、書の価値を改めて見つめます。

記念式典・講演会

式典：9月11日（土）午後1時から

講演会：9月11日（土）午後1時30分から

テーマ：「つたえるということ」

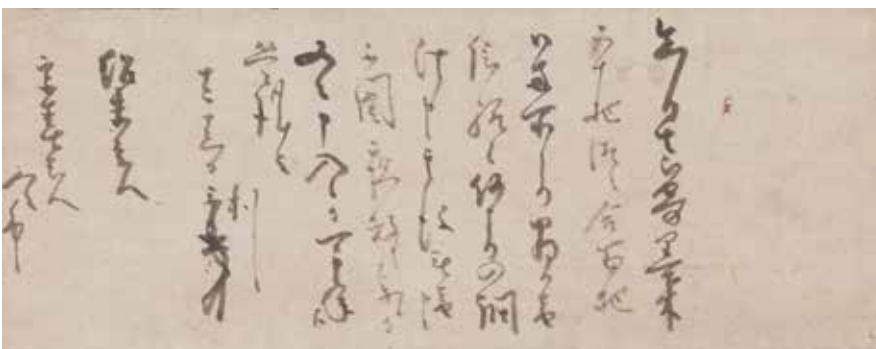
講師：古谷稔（東京国立博物館名誉館員）
福田哲之（島根大学教授）

会場：道風記念館

※詳細は道風記念館へ問い合わせてください。

展示予定品

- I 文字の誕生 - 天につたえる - 甲骨文拓本／大孟鼎拓本
- II 文字の伝播・普及 - 人々につたえる - 琅琊台刻石拓本／空海筆金剛般若経開題断簡 他5点
- III 仮名 - 日本語をつたえるための文字 - 伝藤原佐理筆綾地歌切／伝紀貫之筆高野切 他8点
- IV 手紙 - かの人につたえる - 藤原佐理筆国申文帖／千利休書状 他3点
- V 名跡 - 今につたえられる書美 - 小野道風筆絹地切／本阿弥光悦筆竹下絵和歌巻 他14点



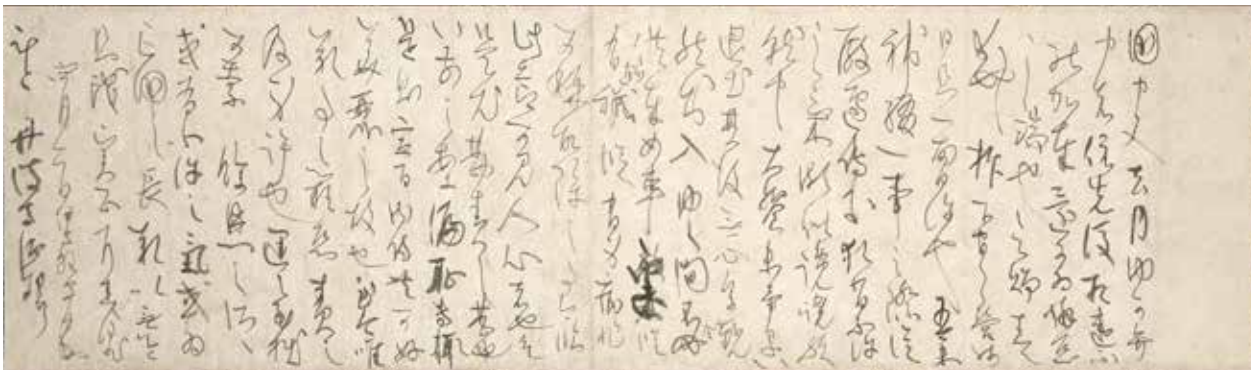
贈り物に対する友人への礼状

千利休書状
（光ミュージアム所蔵）



中国8〜9世紀・唐代中期の漢詩人・白居易の詩

小野道風筆絹地切
（書芸文化院所蔵）



叔父の藤原頼忠に宛てた詫び状

藤原佐理筆国申文帖
（書芸文化院所蔵）